

平成22年度 局予算要求の概要



1 予算要求総額(一般会計)

H22予算要求状況(H21予算比)

歳入	H21予算	H22要求	増減
市税、交付税など	4,480	4,392	▲ 88
国・道支出金	1,501	1,723	222
市債	281	298	17
その他	1,618	1,503	▲ 115
計	7,880	7,916	36

歳出	H21予算	H22要求	増減
人件費	1,130	1,112	▲ 18
扶助費	1,823	2,034	211
公債費	983	973	▲ 10
他会計繰出金	935	938	3
その他	3,009	3,179	170
計	7,880	8,236	356

(億円)

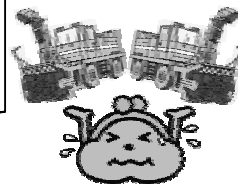
差引収支不足額(要求段階)

▲ 320

札幌市を取り巻く社会経済情勢は厳しい状況にあり、法人市民税を中心とした市税収入の減少や生活保護費などの扶助費の増加により、いまの各局からの要求のままでは、320億円の収支不足となることが見込まれます。

ひと冬の除雪にかかる費用が約150億円ですから、320億円というのはおよそ2年分の除雪費用です。

これから、各局の要求内容を精査して予算編成を行います。これまで以上の徹底的な無駄の見直しと収入の確保に向けた対策を行うことで、予算案までに収支不足を解消しなくてはなりません！



2 22年度予算編成のポイント

事業の見直し



4つの
見直しの
視点

- ・事業成果の検証による見直し
- ・社会構造の変化に合わせた見直し
- ・行政が担う範囲の見直し
- ・自治基本条例の趣旨を踏まえ、地域と連携することによる見直し

19年度に策定した、簡素で効率的な市役所を目指す『行財政改革プラン』の取組みを着実に進めていくとともに、昨今の経済情勢の悪化による厳しい財政状況へ対応するため、「4つの見直しの視点」で事業を見直していきます。

新たなニーズへの対応



「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」の実現のため、19年度に策定した『第二次新まちづくり計画』の目標達成に向けた取組を継続します。さらに厳しい状況に置かれながらも、新たに対応すべきと判断した5つの分野への取組を「市長政策事業群」と位置づけて、重点的に予算を配分します。

具体的な事業は次のページをご覧ください。

3 市長政策事業群要求事業

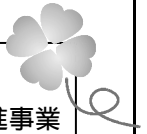
子育て支援・教育対策

- ・保育所緊急整備事業
- ・児童会館児童クラブ等における障がいのある子どもの対応充実
- ・児童養護施設耐震補強事業
- ・児童相談所の将来構想策定事業
- ・子ども読書チャレンジプロジェクト



環境対策

- ・木質バイオ燃料を活用した環境産業推進事業
- ・札幌エネルギーecoプロジェクト補助拡大
- ・環境負荷低減へ向けた市有建築物整備事業
- ・学校施設太陽光パネル整備事業
- ・都心のまちかど美緑（みりよく）アップ事業



高齢者・障がい者福祉

- ・広域型特別養護老人ホーム新築費補助
- ・パーソナル・アシスタンス事業
- ・障がい者講師等派遣事業
- ・障がい者地域活動支援センター（就労者支援型）の拡充
- ・知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成モデル事業
- ・元気ショップの拡充
- ・障がい福祉施設耐震化等整備事業
- ・誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク創出事業



経済対策

- ・さっぽろコンテンツファンドの組成
- ・さっぽろ元気企業販売力強化事業
- ・雇用ミスマッチ解消プログラム
- ・民間建築物耐震化促進事業（特定建築物）

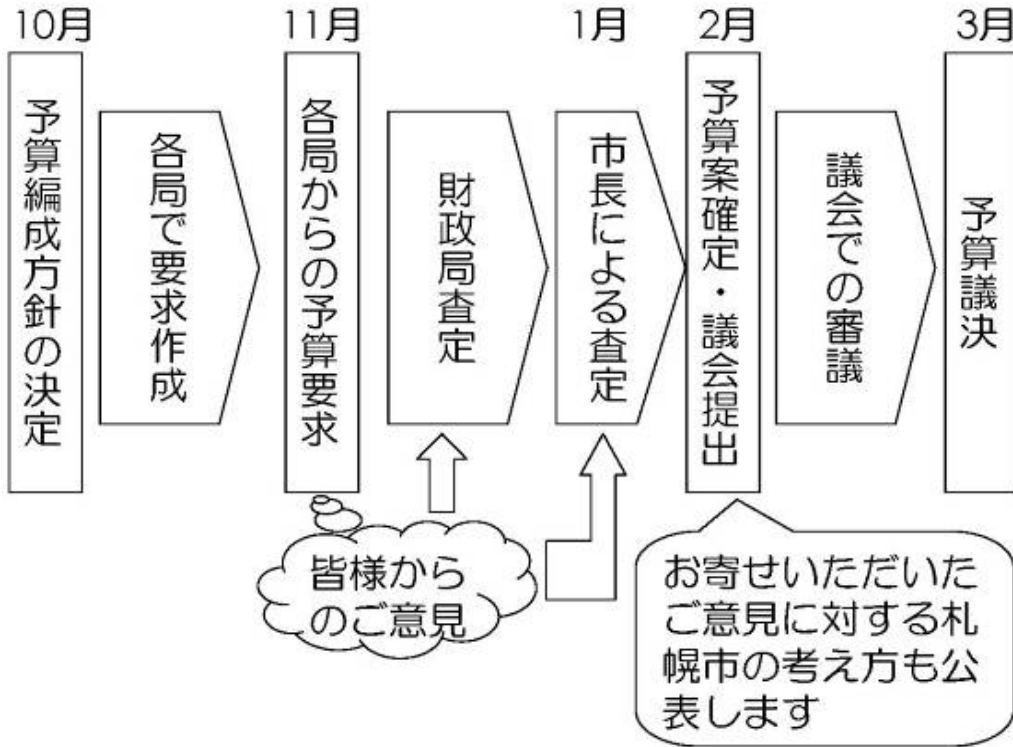


シティプロモート

- ・シティプロモート戦略策定と総合的推進
- ・Webによるコミュニケーションの充実
- ・海外に向けた戦略的な発信とネットワーク形成
- ・首都圏での情報接触度の向上
- ・都市資源、ブランドの創出や魅力向上



4 予算編成の流れ



皆様からいただいたご意見は、これから各局の要求を精査し、よりよい予算案を策定するための参考にさせていただきます。積極的にご意見をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

総務局

一般会計要求総額

109,247,925千円
(対前年度 0.0%)

< 要求の基本的考え方 >

市役所活動全般が円滑に行われるよう、人事、研修、事務管理の総括、情報化等の内部管理的な業務を行う。

ITを活用した市民サービスの提供のほか、国際交流・シティPRなど、国内外との対応や情報発信を推進する。

(単位：千円)

新たな集客交流資源の創出と魅力の発信	一主要事業一	要求額
	「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催経費負担金	
	・・・・・・・・・・・・・・・・	9,500 [国際部]
	世界冬の都市市長会関連事業	6,000 [国際部]
	アジア学生交流事業	600 [国際部]
	首都圏シティPR事業	19,405 [東京事務所]
	首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業	9,725 [東京事務所]
札幌の特色を生かした文化芸術の振興	公文書館基本構想推進	4,273 [行政部]
その他	コンプライアンス関係	1,337 [行政部]
	札幌・瀋陽姉妹都市提携30周年記念事業	
	・・・・・・・・・・・・・・・・	6,350 [国際部]
	札幌・ノボシビルスク姉妹都市提携20周年記念事業	
	・・・・・・・・・・・・・・・・	5,500 [国際部]
	韓国交流促進関連事業	8,687 [国際部]
	IT市民サービス推進事業(コールセンター多言語対応)	
	・・・・・・・・・・・・・・・・	7,000 [情報化推進部]

：新規事業

● 「札幌」を首都圏にPR

関係部局と連携を取りながら、首都圏の人々に、札幌に関してより具体的なイメージを持ってもらうためのPR活動を行います。また、札幌企業の首都圏における販路拡大を支援します。

首都圏シティPR事業

事業費 19,405(21年度予算額 20,013)
主な内訳：メディア広告掲出費 10,261
シティPRイベント 8,500

首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業

事業費 9,725(21年度予算額 10,025)
主な内訳：札幌企業の首都圏における販路拡大支援 8,000

● コールセンターの多言語対応への取組

インターネット電話の活用等による海外への情報提供サービスを実施します。



IT市民サービス推進事業(海外向け多言語コールセンター事業)

事業費 7,000(新規)
主な内訳：委託料 7,000

● 国際交流をまちづくりに生かします

札幌・瀋陽姉妹都市提携 30 周年記念事業

札幌・ノボシビルスク姉妹都市提携 20 周年記念事業

韓国交流促進関連事業

札幌・瀋陽姉妹都市提携 30 周年及び札幌・ノボシビルスク姉妹都市提携 20 周年の節目を市民の皆さんとともに祝い、更なる交流の裾野を広げる機会とするほか、隣国の韓国との交流をさらに促進させることで、様々な施策を学びあい、札幌のまちづくりに生かしていきます。



事業費：瀋陽姉妹都市提携 30 周年記念事業	6,350 (新規)
ノボシビルスク姉妹都市提携 20 周年記念事業	5,500 (新規)
韓国交流促進関連事業	8,687 (新規)
主な内訳：30 周年記念式典等開催費	3,250
20 周年記念式典等開催費	2,400
韓国交流 P R 関係費	2,514

● 公文書館基本計画の策定

公文書館基本構想推進

公文書って何かな？



市民と行政との共有財産である重要な公文書を保存し、市民の利用に供する「公文書館」の基本計画を策定します。また、公文書や公文書館の重要性を市民の皆さんに知ってもらう取組を進めます。

事業費	4,273(21 年度予算額 1,000)
主な内訳：基本計画の策定	2,661
市民周知事業	1,000

● 法令遵守の取組を充実

コンプライアンス関係

外部委員からなるコンプライアンス委員会を設置するなど、法令等遵守体制の確立と職員の公正な職務執行確保に向けた取組を進めます。

コンプライアンス：業務遂行において法令及び関係規程を遵守し、高い倫理観に基づき良識ある行動を行うこと

事業費	1,337(新規)
主な内訳：コンプライアンス委員会	283
公益通報外部通報窓口委託料	756

< 主な見直し項目(効果額) >

事業成果の検証による見直し

- 市民情報センター運営管理費の減 15,096
施設機器保守費用の見直しやウェブシティさっぽろの事業見直し等による。
- 次世代デジタル技術活用推進事業費の減 3,000
事業規模の見直しを行う。

行政が担う範囲の見直し

- 国際プラザの基金活用等による、補助金の見直し 55,511
- 印刷等集中管理費の減 15,286
印刷センターで実施していた印刷業務を廃止する。

その他の見直し

- 一般事務費の削減 53,778
- 施設運営管理費の見直し 1,333
- 民間ビル借上料の減 8,839

市民まちづくり局

一般会計要求総額

8,938,547千円
(対前年度 +41.9%)

< 要求の基本的考え方 >

市民自治が息づくまちづくりを目指して、地域の主体的なまちづくり活動に対する支援を行う。

市民にとっても訪れる人にとっても魅力あるまちにするための都市整備を行う。

(単位：千円)

市民の主体的な地域づくりの支援	- 主要事業 -	要求額
	地域の交流の場普及促進事業	2,000〔地域振興部〕
	市民まちづくり活動促進総合事業	46,338〔地域振興部〕
将来を見据えた魅力ある都市の整備	大通交流拠点再整備構想検討事業	11,000〔都市計画部〕
	札幌駅交流拠点再整備構想策定費	8,000〔都市計画部〕
	地域特性に応じた土地利用の再構築事業	10,000〔都市計画部〕
	道路交通調査	74,000〔総合交通計画部〕
	札幌駅前通地下歩行空間活用推進	177,000〔総合交通計画部〕
	北海道新幹線推進	20,734〔総合交通計画部〕
その他	平和都市宣言普及啓発事業	9,500〔地域振興部〕
	消費者行政活性化事業	50,330〔市民生活部〕

：新規事業

● 地域内の交流を支援

地域の交流の場普及促進事業

子どもからお年寄りまで誰もが気軽に交流を深め、つながりのある快適な地域づくりを進めるため、町内会等が開催する「地域の交流の場」を支援します。

事業費：2,000（新規）
 主な内訳：アドバイザー等派遣 1,800
 広報活動支援 200
 達成目標：支援箇所数
 H22 15か所



● 消費者行政の活性化

消費者行政活性化事業

消費者の安全・安心を確保し、消費生活の安定と向上を図るため、相談体制の整備強化や消費者センターの改修による機能強化などを行うとともに、消費者啓発・教育の充実を図ります。

事業費：50,330
 (21年度予算額 44,660)
 主な内訳：
 相談体制の整備強化 15,343
 消費者センター改修 23,421
 消費者啓発・教育 11,566

● 魅力あふれる都心の拠点づくりを進めます

札幌駅交流拠点再整備構想策定

道都の玄関口として相応しい、札幌駅交流拠点の将来的なあり方について、基本的な考え方をとりまとめ、再整備構想として策定します。

事業費：8,000（前年度予算額 10,000）

主な内訳：検討委託料 7,027

事務費 973

達成目標：H22 再整備構想の策定

22年度効果：再整備構想の策定

● まちづくりと連携した交通戦略を検討します

道路交通調査

21年度末に道央都市圏「都市交通マスタープラン」が策定されます。その実現のため、札幌市ではまちづくりと連携した、概ね10年間の実施計画となる交通戦略を検討します。

事業費：74,000（21年度予算額 38,000）

主な内訳：交通戦略の検討 8,370

将来道路網検討 5,000

道路交通センサス 55,900

達成目標：H23（仮称）札幌市都市・地域総合交通戦略の策定



● 北海道新幹線の誘致

北海道新幹線推進

新幹線の効果を確実に発揮するためのまちづくりを検討するほか、早期実現に向けた中央要望や市民啓発活動を行います。

事業費：20,734

（21年度予算額 15,000）

主な内訳：中央要望 1,480

啓発活動 1,500

関連事業調整・まちづくり検討 14,000



< 主な見直し項目（効果額） >

その他の見直し

- ・ 市税事務所設置に伴う区役所施設維持管理費の見直し 61,800
- ・ 事業の効率化等による補助金の見直し 17,345
- ・ 一般事務費の削減 67,958

保健福祉局

一般会計要求総額

247,709,425千円
(対前年度 +11.1%)

< 要求の基本的考え方 >

高齢者や障がいのある方などの安心・安全な地域生活を支えるため、ハード面及びソフト面の整備を強化する。

保健福祉行政を取り巻く情勢の変化に的確に対応し、健康危機管理体制をより一層充実させる。

(単位：千円)

	一主要事業一	要求額
子どもを生き育てやすい環境づくり	妊婦一般健康診査	1,143,123〔保健所〕
	生後4か月までの全戸訪問	65,673〔保健所〕
	不妊治療支援事業	112,471〔保健所〕
高齢者の地域生活支援の充実	福祉除雪事業	85,966〔総務部〕
	広域型特別養護老人ホーム新築費補助	297,000〔保健福祉部〕
	地域密着型特別養護老人ホーム新築費補助	243,000〔保健福祉部〕
	地域包括支援センター運営事業	857,400〔保健福祉部〕
障がい者の自立支援の促進	若年性認知症支援事業	8,235〔保健福祉部〕
	パーソナルアシスタンス事業	185,392〔保健福祉部〕
	障がい者講師等派遣事業	2,297〔保健福祉部〕
	知的障がい者を対象としたホームヘルパー養成モデル事業	4,655〔保健福祉部〕
	障がい福祉施設耐震化等整備費補助	799,688〔保健福祉部〕
	障がい者「元気ショップ」運営事業	29,459〔保健福祉部〕
	元気ショップ等拡充整備	95,992〔保健福祉部〕
精神障がい者地域生活移行支援事業	43,964〔保健福祉部〕	
災害に強い安全なまちの整備	災害時要援護者避難支援対策	3,710〔総務部〕
その他	安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業	17,536〔保健所〕
	食品分析機器整備	9,996〔衛生研究所〕

：新規事業 ：ヘルプアップ事業

● 特別養護老人ホームの整備を支援

広域型特別養護老人ホーム新築費補助金
地域密着型特別養護老人ホーム新築費補助金

入所待機者の解消を図るため、地域密着型特別養護老人ホームに加え、広域型特別養護老人ホームの整備を行う社会福祉法人に対しても補助を行います。

事業費 540,000 (21年度予算額 120,000)

達成目標 広域型特別養護老人ホーム数

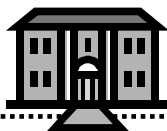
H21 46カ所 H22 47カ所

地域密着型特別養護老人ホーム数

H21 8カ所 H22 10カ所

22年度効果 +3施設

(定員+138名)



● パーソナル・アシスタンス事業の実施

パーソナル・アシスタンス事業

身体に重度の障がいのある方の地域での暮らしを支えるため、地域の人材等を介助者とした場合に費用を支給します。

また、利用者及び介助希望者に対し必要な支援を行うサポートセンターを設置し、障がい者と介助者の橋渡しをします。

事業費 185,392(新規)

達成目標 ホームヘルプサービスの時間数拡大

H21 11時間/日 H22 16時間/日

入所施設入所者の地域生活への移行

H22 320人

● 知的障がい者等対象のホームヘルパー研修を2級に拡大

知的障がい者等を対象とした ホームヘルパー養成モデル事業

手稲区が NPO と連携して実施している「知的障がい者等を対象としたホームヘルパー研修」を 3 級から 2 級に拡大して実施します。

事業費 4,655(21 年度予算額 1,900)
 主な内訳：2 級ヘルパー養成講座 2,850
 3 級ヘルパー養成講座 1,805
 達成目標 2 級ヘルパー養成講座終了者数
 H22 5人



● 障がい福祉施設の耐震化等の推進

障がい福祉施設耐震化等整備費補助

火災・地震時に自力で避難することが困難な方々が多く入所する施設の耐震化整備とスプリンクラー整備を実施し、入所されている方々の安全・安心を確保します。



事業費 799,688(新規)
 主な内訳：耐震化整備費(2施設) 675,550
 スプリンクラー整備費(7施設) 124,138
 達成目標 入所施設の耐震化整備数
 未整備6施設 H22 2施設の整備
 入所施設のスプリンクラー整備数
 未整備8施設 H22 7施設の整備
 22年度効果 +9施設

● 元気ショップ等の拡充

障がい者「元気ショップ」運営事業 元気ショップ等拡充整備

「元気ショップ」のスペースを拡充するとともに、福祉ショップ「いこ～る」に飲食コーナーを設置する等の整備を行います。

事業費 運営 29,459 (21 年度予算額 22,117)
 整備 95,992 (新規)
 主な内訳：元気ショップ改修工事費 78,580
 元気ショップ・いこ～る備品費 10,689
 達成目標 元気ショップの売り上げ
 H20 37,750 H23 41,470
 福祉ショップいこ～るの売り上げ
 H20 20,056 H23 22,060



● 食の安全対策のための検査機器整備

食品分析機器整備

老朽化のため精度の低下している食品分析機器を更新します。

事業費 9,996 (新規)
 主な内訳：食品分析機器購入費
 原子吸光光度計(1台) 9,996

< 主な見直し項目(効果額) >

行政が担う範囲の見直し	
・女性のフレッシュ検診の委託方法の見直し	2,235
社会構造の変化に合わせた見直し	
・施設に対する奉仕員設置費補助の廃止	13,808
その他の見直し	
・指定管理者基準管理費用の見直し	59,881
・一般事務費の削減	110,568

特別会計

保健福祉局では、一般会計の他に、4つの特別会計を所管しています。

国民健康保険会計(予算要求額 189,755 百万円)

医療費の著しい増加が見込まれること等により、予算要求総額は前年度と比べて2.2%の増になります。また、一世帯あたり保険料を軽減するための繰入金約 128 億円を含め、一般会計から総額約 251 億円の繰入金を受け入れます。保険料については、口座振替の促進など、滞納の未然防止対策を積極的に進めることにより、収納率の向上および歳入の確保に努めていきます。

介護保険会計(予算要求額 100,214 百万円)

第4期介護保険事業計画に基づき、在宅や施設の介護保険サービスの提供に加え、介護予防などの地域支援事業を充実させていきます。

老人医療会計(予算要求額 261 百万円)

老人保健制度から後期高齢者医療制度への移行に伴い、21年度予算に比べ大幅に予算が減少しています。(22年度は、医療機関からの医療費の再請求分等について計上)

後期高齢者医療会計(予算要求額 20,476 百万円)

後期高齢者医療を運営している広域連合の運営経費や被保険者から徴収した保険料などを計上しています。22年度予算は、被保険者数の自然増や保険料の改定により増加が見込まれます(保険料は広域連合議会において決定します)。

子ども未来局

一般会計要求総額

55,496,005千円
(対前年度 +8.3%)

< 要求の基本的考え方 >

子どもを安心して生み育てることができるまちづくりを目指して、社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進める。

札幌の明日を担う子どもたちが、未来に夢を持ち、心身ともに健やかに育つ環境づくりに向けて、子どもたち一人ひとりの権利を尊重する社会の実現を目指す。

(単位：千円)

子どもを生き育てやすい環境づくり	主要事業	要求額
	ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業	13,729 [子ども育成部]
	保育所待機児童対策事業	2,761,648 [子育て支援部]
未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	放課後の居場所づくりの推進	445,474 [子ども育成部]
	(ミニ児童会館整備、中・高校生の利用促進、障がいのある子どもの対応充実)	
	子どもの権利推進事業	14,400 [子ども育成部]
	児童養護施設耐震化事業	46,054 [子育て支援部]
	児童相談所将来構想策定事業	8,390 [児童福祉総合センター]
その他	さっぽろ親子絵本ふれあい事業	13,385 [子育て支援部]

：新規事業 ：バ・ル・ア・ップ 事業

● ワーク・ライフ・バランスの推進

ワーク・ライフ・バランス推進事業

ワーク・ライフ・バランス(WLB)に配慮する職場環境づくりに取り組む企業を札幌市独自の基準で認証し、アドバイザーの派遣や助成金支給などの支援を行うほか、WLBに関する正しい知識と実践力を持つ人材育成に向けて、全国でも類を見ない資格制度の創設を目指すなど、企業・団体とも連携して推進していきます。



事業費	13,729(21年度予算額 12,500)
主な内訳：助成金	7,500
アドバイザー報酬	2,534
達成目標	認証取得企業数
	H18 - H22 250社
22年度効果	+100社

● 子どもの権利の推進

子どもの権利推進事業



子ども議会の様子



「子どもの権利条約」及び「子どもの最善の利益を実現するための権利条約」の広報・普及や市政等への子ども参加を進めるほか、子どもの権利についての推進計画の策定等、子どもの権利を尊重する社会を実現するための取組を行います。

事業費	14,400(21年度予算額 7,900)
内訳：条約・条例の広報・普及	7,400
委員会開催、推進計画策定	7,000

● 保育所の入所定員の拡充

私立保育所改築費補助
 私立保育所新築費補助
 私立保育所分園整備費補助
 認定こども園整備費補助
 認可保育所整備促進事業

急増する保育需要に対応するため、認可保育所の創設や増改築等の整備を進め、待機児童の解消を目指します。



事業費 2,761,648(21年度予算額 1,181,150)
 内訳：整備費補助金 2,761,648
 22年度効果 820人の保育所定員増

● 絵本とふれあう機会の提供

さっぽろ親子絵本ふれあい事業

保健センターの乳幼児10か月児健診の際に、絵本の読み聞かせや配布を行い、絵本を通じて親子が心ふれ合うひとときをもつきっかけを作ります。



事業費 13,385(21年度予算額 13,800)
 内訳：絵本購入費等事務費 13,385

● 放課後の居場所づくりの推進

児童会館運営管理（利用促進・対応充実分）
 ミニ児童会館運営管理（対応充実分）
 ミニ児童会館施設設備整備

小学校の余裕教室などを活用したミニ児童会館を整備するほか、児童会館を利用しやすくするため、中・高校生の利用促進や、障がいのある子どもの受け入れ体制を充実させるなど、子どもが安全で健やかに活動できる居場所づくりを進めます。



事業費 445,474(21年度予算額 138,900)
 内訳：ミニ児童会館整備費 285,139
 運営管理費 160,335
 22年度効果 +9館整備

● 児童養護施設の耐震化を実施

児童養護施設耐震化事業

社会的養護を必要とする児童の生活の場を安全に維持するため、老朽化の進む施設の耐震化対策を行います。

事業費 46,054(新規)
 内訳：整備費補助金 46,054
 22年度効果 耐震性能の向上（1か所）

● 児童相談所の機能強化

児童相談所将来構想策定事業

児童虐待等、複雑・多様化し、増加する相談への対応充実を図るため、関係機関との連携のあり方も含め、児童相談所の将来構想を策定します。

事業費 8,390(新規)
 内訳：調査費 5,640
 事務費 2,750

< 主な見直し項目(効果額) >

社会構造の変化に合わせた見直し

- ・運営費補助の見直し 7,848
- 〔 児童福祉施設運営費補助金の見直し
 児童育成会運営委員会補助金の見直し 〕
- ・少年育成指導員の配置基準の見直し 3,913

その他の見直し

- ・委託料（指定管理費）の見直し 161,789
 [児童会館、こども劇場、母子寡婦福祉センター]
- ・一般事務費の削減 31,562

環境局

一般会計要求総額

31,189,004千円

(対前年度 1.5%)

<要求の基本的考え方>

「安全・安心で、人と環境にやさしい街」の実現に向けて、「水とみどりの保全・育成と創出」と「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」を推進するため、事業の優先付け・重点化を図る。

(単位：千円)

	一主要事業一	要求額
子どもを生き育てやすい環境づくり	福祉と多世代のふれあい公園づくり事業	・・109,500〔みどりの推進部〕
水とみどりの保全・育成と創出	創成川通親水緑地整備事業	・・・・・684,000〔みどりの推進部〕
	北緯43°花香る北の街づくり事業	・・・60,185〔みどりの推進部〕
地球環境問題への対応と循環型社会の構築	札幌・エネルギーecoプロジェクト	・・547,348〔環境都市推進部〕
	札幌・サンサンプロジェクト事業	・・・254,000〔環境都市推進部〕
	環境産業推進事業等	・・・・・149,000〔環境都市推進部〕
	新は虫類館整備	・・・・・468,074〔円山動物園〕
	生ごみ減量市民力推進事業	・・・・・219,000〔環境事業部〕

● 水とみどりの保全・育成と創出

創成川通親水緑地整備事業

創成川通アンダーパス連続化事業により創出される地上部分に、水とみどりを生かした新たな空間を整備します。



事業費 684,000 (21年度予算額 386,000)

主な内訳：工事費 647,380

達成目標：都心部における水とみどりの空間

H18： - H22：1.9ha

供用開始は23年度

北緯43°花香る北の街づくり事業



地域主体の花壇づくりを推進し、市民自ら花苗を育成して植栽する取組を支援します。

事業費 60,185(21年度予算額 97,021)

主な内訳：コミュニティガーデンプラン 5,807

ぶらり さっぽろ花ロードプラン 5,779

歩道美化事業 28,897

マイタウンマイフラワープラン 4,290

緑地帯整備事業 1,147

さっぽろ花と緑のネットワーク支援事業 12,800

達成目標：コミュニティガーデン設置数(累計)

H18： - H22：30カ所

22年度効果：+10カ所

● 新は虫類館の建設

新は虫類館整備

円山動物園基本計画に基づき、新は虫類館を建設します。新施設は省エネに配慮するとともに、これまでの、は虫類に加え新たに両生類も展示します。また飼育員の作業風景も見える構造になっており、世界的水準の繁殖技術を垣間見ることができます。

事業費 468,074(21年度予算額 10,380)

主な内訳：新は虫類館建築費 433,935

旧館解体設計費 15,613

事務費 18,526

達成目標 入園者数

H18 600,000人 H22 900,000人

22年度効果 +100,000人

● 子どもを生き育てやすい環境づくり

福祉と多世代のふれあい公園づくり事業

子育て支援の充実を目的として、公園内に乳幼児が安心して遊べるキッズコーナーの整備を進めます。



事業費 109,500(21年度予算額：96,600)

主な内訳：バリアフリー公園工事費 30,352

キッズコーナー基本設計 3,018

キッズコーナー工事費 73,200

達成目標：キッズコーナー(累計)

H18： - H22：10カ所

22年度効果：+4カ所

● 新エネ・省エネ機器の導入を支援

札幌・エネルギーeco プロジェクト事業

太陽光発電や省エネルギータイプの給湯器、暖房機などの導入に対して、金利優遇や補助、無利子融資を実施します。22年度は市民向け補助額を増やすと共に、中小企業向け補助を拡大します。

事業費 547,348(21年度予算額 351,300)

主な内訳：

住宅ローン提携型融資助成金	4,500
市民向け融資	(融資枠 200,000)
市民向け補助	95,000
中小企業向け補助	45,000
中小企業者向け融資	(融資枠 200,000)
事務費	9,659

達成目標：省エネ機器等導入によるCO2削減量
22年度末累計 55,000トﾝ-CO2/年

● 生ごみ減量・リサイクル

生ごみ減量市民力推進事業

燃やせるごみの大部分を占める生ごみを減量し資源として活用するための情報提供や、家庭での水切り、ダンボール箱等による堆肥化の取組を積極的に支援します。



事業費 219,000(新規要求事業)

主な内訳：生ごみ水切り運動	59,500
生ごみ堆肥化支援	108,650
生ごみ堆肥活用	50,850

達成目標 目標取組世帯 20万世帯

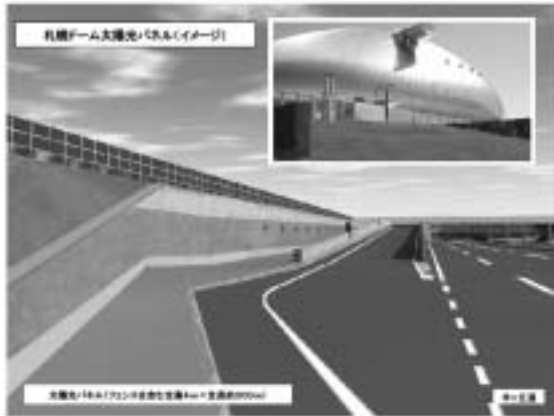
● 太陽光発電の導入

札幌・サンサンプロジェクト事業

札幌ドームに太陽光発電設備を設置します。札幌コンベンションセンター、厚別区役所に太陽光発電設備を設置するための設計をします。

事業費 254,000(21年度予算額 23,000)

主な内訳：設置工事費	231,000
設計等委託費	19,000

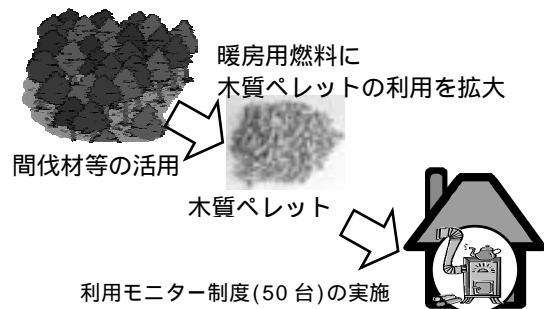


● 木質バイオ燃料の利用を推進

環境産業推進事業

札幌市近郊にある間伐材などの未利用の森林資源を活用した木質バイオ燃料の利用を推進します。

利用拡大に向け、市有施設に木質ペレットを燃料とするボイラーやストーブを導入し、率先して利用を進めます。



事業費 149,000(21年度予算額 120,000)

主な内訳：利用モニター等利用推進費	46,000
市有施設設備導入費	84,000
グリーン熱証書モデル事業費	10,000

< 主な見直し項目(効果額) >

事業成果の検証による見直し

- ・ガーデニングネットワークプランの廃止 1,000
市民による花と緑のまちづくり活動の推進・支援を目的とした市民の緑づくりへの指導事業については、より簡便な方法に事業を見直し、効率化を図ったため廃止

その他の見直し

- ・一般事務費の削減 180,505

経 済 局

< 要求の基本的考え方 >

「札幌の経済を支える企業・人の支援」、「札幌らしい新産業の育成と企業の誘致」を重点的に推進するために、事業の必要な見直しや事業の選択と集中を積極的に行い、「主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街」の実現を図る。

一般会計要求総額

95,774,578千円
(対前年度 +2.4%)

(単位：千円)

	一主要事業一	要求額
札幌の経済を支える企業・人の支援	さっぽろ元気企業販売力強化事業	35,000〔産業振興部〕
	雇用ミスマッチ解消プログラム	54,362〔雇用推進部〕
	就業サポートセンター等事業	111,007〔雇用推進部〕
	若年層就業促進事業	31,793〔雇用推進部〕
	景気対策緊急支援資金貸付	24,649,870〔産業振興部〕
	アジア圏等経済交流促進事業	31,506〔産業振興部〕
	ものづくり産業活性化支援事業	16,850〔産業振興部〕
	卸売業活用型販路拡大支援事業	4,500〔産業振興部〕
札幌らしい新産業の育成と企業の誘致	「北海道の食を愛するまち札幌」推進事業	11,630〔産業振興部〕
	さっぽろコンテンツファンド組成事業	100,000〔産業振興部〕
	新産業分野先進地ネットワーク構築事業	4,400〔産業振興部〕
	地産地消推進事業	9,398〔農政部〕
	札幌スタイル推進事業	21,280〔産業振興部〕
	さっぽろスイーツ推進事業	11,436〔産業振興部〕
	広域連携企業誘致推進事業	8,600〔産業振興部〕
	高度情報通信人材育成・活用事業	39,556〔産業振興部〕
	ものづくり産業誘致促進事業	16,192〔産業振興部〕
環境配慮型データセンター導入調査・研究事業	12,600〔産業振興部〕	
その他	農地・農家基本調査	15,448〔農政部〕
	地域商業魅力アップ事業	36,100〔産業振興部〕

：新規事業 ：レベルアップ事業

● 市民による道産食品の消費促進

「北海道の食を愛するまち札幌」推進事業

市民による道産食品の消費喚起を目指し、市民に対する食の情報提供・市民による情報発信を推進します。



事業費	11,630(新規)
主な内訳：ホームページ作成	5,000
市民による	
情報発信活動への補助金	5,000
その他事務費	1,630

● パートナーとの連携による販売力強化

さっぽろ元気企業販売力強化事業

優れた製品・技術・サービスを持ちながら、販売力が不足している市内中小企業と、適切なパートナー企業が連携して販売拡大を目指す際に、その販売促進費等の支援を実施します。



事業費	35,000(新規)
主な内訳：販売促進費等補助金	30,000
相談会等実施	5,000
達成目標	支援企業の売上増加
	H22 +30,000

● 新たな札幌農業の展開

都市農業アクションプラン策定
(農地・農家基本調査)

法人など多様な担い手の農業参入や新制度への対応に向け、農地情報システムの構築や営農支援の充実強化等を関係機関・団体との新たな協働体制で取り組みます。



事業費 15,448(新規)
 主な内訳：農地作付情報整備 7,500
 農業者情報整備 6,000

● 近隣市町村との連携による企業誘致を推進

広域連携企業誘致推進事業

企業誘致等に関する協定を締結した石狩市との連携により、両市の立地優位性をPRしながら首都圏企業への積極的な働きかけを行うなど、より強力に企業誘致を推進します。



事業費 8,600(21年度予算額 3,600)
 主な内訳：首都圏展示会共同出展 1,170
 広域連携企業誘致パッケージ 5,000
 その他事務費 2,430
 達成目標 事業所開設数 1社

● 雇用ミスマッチ解消のための総合就労支援

雇用ミスマッチ解消プログラム

資格取得から合同企業説明会までの一貫した支援事業を実施するなど、有効求人倍率の比較的高い業種への就職を促進し、雇用ミスマッチの解消を目指します。

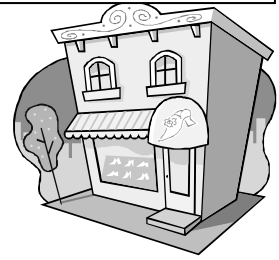


事業費 54,362(新規)
 主な内訳：支援事業 44,362
 企業への助成金 10,000
 達成目標 就職者数 H22 +120人

● 魅力ある商業地の創出支援

地域商業魅力アップ事業

商店街の魅力アップのために新たな事業に取り組む商店街を引き続き支援していくとともに、個店の販売力強化を支援します。



事業費 36,100(21年度予算額 24,950)
 主な内訳：商店街への補助金 30,300
 その他商店街支援費 5,800
 達成目標 商店街等支援制度による支援件数
 H21 48商店街 H22 57商店街
 22年度効果 +9商店街

● 中小企業者の資金需要への対応

景気対策緊急支援資金貸付

厳しい経営環境にある中小企業者を支援する「景気対策緊急支援資金」を22年度も継続し、中小企業者の資金需要に対応します。



事業費 24,649,870
 (21年度当初予算額 11,739,500)
 主な内訳：金融機関への預託金 24,439,000
 その他事務費等 210,870
 22年度効果 新規融資見込額 20,000,000

● 農業の持続的発展のため、地産地消を推進

地産地消推進事業

地産地消を推進し、生産者と消費者の顔の見える関係を築くことで、農業の持続的な発展を目指します。



事業費 9,398(新規)
 主な内訳：イベント開催費 1,778
 高度管理技術支援補助金 1,300
 その他地産地消推進費 6,320
 達成目標 さっぽろハーベストランド認知率
 H21 42.8% H22 50.0%
 22年度効果 +7.2%

< 主な見直し項目(効果額) >

事業成果の検証による見直し ・地産地消都市推進事業等、食関連産業の発信に係る諸事業を整理・廃止 29,324
 その他の見直し ・一般事務費の削減 21,716
 ・施設運営管理費の見直し(札幌市産業振興センター指定管理者更新効果) 29,508

観光文化局

一般会計要求総額

8,015,517千円

(対前年度 +0.3%)

< 要求の基本的考え方 >

ターゲットを明確にした「シティプロモート」の重要性を考慮し、重点的に取り組む。

市民が文化芸術やスポーツを通して、この街に住むことに誇りを持てるような魅力あるまちづくりを進める。

(単位：千円)

<p>新たな集客 交流資源の 創出と魅力の 発信</p>	<p>— 主要事業 —</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要求額</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藻岩山魅力アップ事業</td> <td>595,431</td> <td>〔観光課(生活部)〕</td> </tr> <tr> <td>さっぽろオータムフェスト事業</td> <td>50,000</td> <td>〔観光課(生活部)〕</td> </tr> <tr> <td>上海万博を契機とした観光PR事業</td> <td>13,500</td> <td>〔観光課(生活部)〕</td> </tr> <tr> <td>冬の観光情報発信・誘致促進事業</td> <td>15,000</td> <td>〔観光課(生活部)〕</td> </tr> <tr> <td>韓国姉妹都市提携観光PR事業</td> <td>3,000</td> <td>〔観光課(生活部)〕</td> </tr> <tr> <td>冬の観光プロモーション事業</td> <td>8,000</td> <td>〔観光課(生活部)〕</td> </tr> <tr> <td>雪まつり外国人向けリーフ製作</td> <td>1,000</td> <td>〔観光課(生活部)〕</td> </tr> <tr> <td>観光情報ポータルサイト運営</td> <td>3,700</td> <td>〔観光課(生活部)〕</td> </tr> <tr> <td>定山溪観光客誘致関連特別補助</td> <td>3,000</td> <td>〔観光課(生活部)〕</td> </tr> <tr> <td>国際芸術展調査事業</td> <td>5,000</td> <td>〔文化局〕</td> </tr> <tr> <td>文化資源PR事業</td> <td>4,350</td> <td>〔文化局〕</td> </tr> </tbody> </table>		要求額		藻岩山魅力アップ事業	595,431	〔観光課(生活部)〕	さっぽろオータムフェスト事業	50,000	〔観光課(生活部)〕	上海万博を契機とした観光PR事業	13,500	〔観光課(生活部)〕	冬の観光情報発信・誘致促進事業	15,000	〔観光課(生活部)〕	韓国姉妹都市提携観光PR事業	3,000	〔観光課(生活部)〕	冬の観光プロモーション事業	8,000	〔観光課(生活部)〕	雪まつり外国人向けリーフ製作	1,000	〔観光課(生活部)〕	観光情報ポータルサイト運営	3,700	〔観光課(生活部)〕	定山溪観光客誘致関連特別補助	3,000	〔観光課(生活部)〕	国際芸術展調査事業	5,000	〔文化局〕	文化資源PR事業	4,350	〔文化局〕
	要求額																																				
藻岩山魅力アップ事業	595,431	〔観光課(生活部)〕																																			
さっぽろオータムフェスト事業	50,000	〔観光課(生活部)〕																																			
上海万博を契機とした観光PR事業	13,500	〔観光課(生活部)〕																																			
冬の観光情報発信・誘致促進事業	15,000	〔観光課(生活部)〕																																			
韓国姉妹都市提携観光PR事業	3,000	〔観光課(生活部)〕																																			
冬の観光プロモーション事業	8,000	〔観光課(生活部)〕																																			
雪まつり外国人向けリーフ製作	1,000	〔観光課(生活部)〕																																			
観光情報ポータルサイト運営	3,700	〔観光課(生活部)〕																																			
定山溪観光客誘致関連特別補助	3,000	〔観光課(生活部)〕																																			
国際芸術展調査事業	5,000	〔文化局〕																																			
文化資源PR事業	4,350	〔文化局〕																																			
<p>未来を担う 子どもが 健やかに育つ 環境の充実</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>子どもの美術体験事業費補助</td> <td>7,906</td> <td>〔文化局〕</td> </tr> <tr> <td>子どもの映像制作体験事業費補助</td> <td>1,650</td> <td>〔文化局〕</td> </tr> </tbody> </table>	子どもの美術体験事業費補助	7,906	〔文化局〕	子どもの映像制作体験事業費補助	1,650	〔文化局〕																														
子どもの美術体験事業費補助	7,906	〔文化局〕																																			
子どもの映像制作体験事業費補助	1,650	〔文化局〕																																			
<p>札幌の特色を 活かした 文化芸術の 振興</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>サッポロ・シティ・ジャズ事業費補助</td> <td>15,473</td> <td>〔文化局〕</td> </tr> <tr> <td>パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助</td> <td>215,603</td> <td>〔文化局〕</td> </tr> <tr> <td>文化財施設維持保存事業</td> <td>55,336</td> <td>〔文化局〕</td> </tr> </tbody> </table>	サッポロ・シティ・ジャズ事業費補助	15,473	〔文化局〕	パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助	215,603	〔文化局〕	文化財施設維持保存事業	55,336	〔文化局〕																											
サッポロ・シティ・ジャズ事業費補助	15,473	〔文化局〕																																			
パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助	215,603	〔文化局〕																																			
文化財施設維持保存事業	55,336	〔文化局〕																																			
<p>スポーツを 楽しむ環境の 充実と健康 づくりの推進</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>さっぽろスポーツキャラバン隊事業</td> <td>6,000</td> <td>〔スポーツ部〕</td> </tr> <tr> <td>子ども体力向上事業</td> <td>6,000</td> <td>〔スポーツ部〕</td> </tr> <tr> <td>地域スポーツクラブ支援事業</td> <td>4,000</td> <td>〔スポーツ部〕</td> </tr> <tr> <td>ルディック記念ウインタースポーツ活性化事業</td> <td>14,390</td> <td>〔スポーツ部〕</td> </tr> <tr> <td>ウインタースポーツミュージアム整備事業(リニューアル)</td> <td>115,534</td> <td>〔スポーツ部〕</td> </tr> </tbody> </table>	さっぽろスポーツキャラバン隊事業	6,000	〔スポーツ部〕	子ども体力向上事業	6,000	〔スポーツ部〕	地域スポーツクラブ支援事業	4,000	〔スポーツ部〕	ルディック記念ウインタースポーツ活性化事業	14,390	〔スポーツ部〕	ウインタースポーツミュージアム整備事業(リニューアル)	115,534	〔スポーツ部〕																					
さっぽろスポーツキャラバン隊事業	6,000	〔スポーツ部〕																																			
子ども体力向上事業	6,000	〔スポーツ部〕																																			
地域スポーツクラブ支援事業	4,000	〔スポーツ部〕																																			
ルディック記念ウインタースポーツ活性化事業	14,390	〔スポーツ部〕																																			
ウインタースポーツミュージアム整備事業(リニューアル)	115,534	〔スポーツ部〕																																			

：新規事業

● シティプロモート事業

国際芸術展調査事業

海外事例の調査や市内美術関係者との協議を行い、国際芸術展の検討調査を実施します。



事業費：5,000 (新規)
主な内訳：調査費 5,000

上海万博を契機とした観光PR事業



中国上海市での万国博覧会開催中に、日本館イベントスペースで行われる「北海道の日」などを活用し、札幌市の観光PR(セミナー等)を行う。

事業費：13,500 (新規)
主な内訳：万博代外経費負担金 10,000

● 観光魅力づくりの推進

藻岩山魅力アップ事業

環境・安全に配慮しながら老朽化した山頂展望台などの再整備を行い、23年春のリニューアルオープンをめざします。ソフト事業も継続し、市民・観光客の皆様に事業内容をお知らせしていくとともに魅力発信を図ります。



事業費：595,431(21年度予算額 44,300)

主な内訳：

札幌紹介映像プログラム	43,960
周辺環境等整備事業補助金	279,700
魅力アップ広報宣伝費	4,994

● 多様な芸術文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

サッポロ・シティ・ジャズ事業費補助

札幌独自の都市型ジャズフェスティバルを創造していくため、市内各所でのライブ演奏の他、海外との交流、子どもを対象としたワークショップなどの事業への支援を行います。



事業費：15,473(21年度予算額 14,000)

主な内訳：事業費補助金 15,371
事務費 102

達成目標：イベント観客動員数

H18 4,000人 H22 100,000人

H21に達成済み(108,623人)

22年度効果：+6,377人

● ウィンタースポーツの活性化

ウィンタースポーツミュージアム整備事業

ウィンタースポーツの情報発信機能・疑似体験機能を強化するため、ウィンタースポーツミュージアムのリニューアルを行い、展示品の収集・更新や大型体験機器の更新等を行います。



事業費：115,534(21年度予算額 20,000)

主な内訳：大型体験装置の更新・コーナーリニューアル等 110,964
展示品の収集・更新 4,570

達成目標：ミュージアム来館者数

H18 121,946人 H22 133,800人

22年度効果：+25,800人

ルディック記念ウィンタースポーツ活性化事業

低迷傾向が見られるウィンタースポーツの活性化を図るため、2007年ノルディックスキー世界選手権札幌大会の剰余金を活用して、ウィンタースポーツの体験事業やスキー学習支援などを展開します。



事業費：14,390(21年度予算額 9,700)

主な内訳：ウィンタースポーツ体験等委託料 6,230
スキー学習支援事業 3,960

達成目標：ウィンタースポーツをする人の割合

H18 13.0% H22 20.0%

22年度効果：+8.0%

< 主な見直し項目(効果額) >

行政が担う範囲の見直し

・札幌市写真ライブラリー運営管理の廃止 34,873

社会構造の変化に合わせた見直し

・各種補助金の見直し 27,946

その他の見直し

・指定管理者更新効果 88,719

・学校開放運営事業の見直し 22,838

建設局

一般会計要求総額

56,651,524千円
(対前年度 +2.0%)

< 要求の基本的考え方 >

LED街路灯の設置や歩道のバリアフリー化といった、新たな行政需要への対応を実施・強化する。

「整備」から「維持」へのシフトを図るとともに、普通建設事業費の確保も目指す。

(単位：千円)

	一主要事業一	要求額
市民の主体的な地域づくりの支援	地域と創る冬みち事業	77,100〔管理部〕
障がい者の自立支援の促進	誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク創出事業	1,645,000〔土木部〕
水とみどりの保全・育成と創出	創成川親水緑地整備事業	104,000〔土木部〕
	多自然川づくりの推進	69,000〔下水道河川部〕
災害に強い安全なまちの整備	災害に強い道づくり事業(橋りょうの耐震化)	1,252,000〔土木部〕
将来を見据えた魅力ある都市の整備	札幌駅前通地下歩行空間整備事業	5,255,000〔土木部〕
	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)	1,270,000〔土木部〕
その他	LED街路灯設置事業	400,000〔管理部〕

：新規事業 ：レバレッジ事業

● バリアフリー重点整備地区を拡大

誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク創出事業

誰もが安心して歩けるよう、重点整備地区における歩道のバリアフリー化を進めるとともに、新たに3地区の「あんしん歩行エリア(*)」を形成するなど、安全で歩きやすい歩行空間を創出します。



事業費 1,645,000 (21年度予算額 1,041,000)

主な内容：歩道のバリアフリー整備を実施する。

達成目標

《重点整備地区バリアフリー化率》

22年度

21年度に策定された「新・札幌市交通バリアフリー基本構想」における、重点整備地区53地区について、新たな目標値を設定する。

《あんしん歩行エリアの形成数》

H18 9エリア H22 12エリア

22年度 エリア拡大に向け検討中

*あんしん歩行エリア

市街地内で交通事故の発生が多い地区を対象に、歩行者や自転車などが安心して通行できるように、地域主体で道路整備や交通安全活動などを重点的に行うエリア。

● Let's Eco Design

LED街路灯設置事業

札幌市が管理する街路灯のうち、80Wクラスの水銀灯を、省エネ性能の高いLED街路灯に交換し、環境負荷の低減及び維持管理費の低減を図ります。

事業費 400,000 (新規)

主な内容：市内の生活道路照明用水銀灯のうち、80Wクラスの水銀灯 12,000 灯を対象として、LED街路灯に交換する。

事業年度は、H22～H25 の4年間で実施する
(各年度3,000灯ずつ交換)

● 交通アクセス性の向上

交通結節点改善事業 (JR白石駅周辺地区)

JR白石駅周辺において、鉄道により分断されている市街地の一体化や、交通結節点へのアクセスの向上、公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上を図るため、自由通路、駅前広場などの整備を実施します。

事業費 1,270,000(21年度予算額 842,000)

主な内容：自由通路の整備(20年度より継続)

達成目標

《JR白石駅自由通路の整備》

H22 供用開始

● 市民自治の実践による雪対策の推進

地域と創る冬みち事業

地域住民・除雪事業者・行政の三者による話し合いにより、地域の実情に応じた除排雪等を行い、市民の理解や満足度を高めます。

事業費 77,100(21年度予算額 72,000)

達成目標

《参加町内会数》

H18 H22 総数 560 町内会

22年度実施予定数 80 町内会



● 橋りょうの耐震機能の強化

災害に強い道づくり事業 (橋りょうの耐震化)

大規模な災害時に救急・消火および緊急物資の輸送などの重要な役割を担う緊急輸送路の機能を確保するため、橋りょうの耐震補強を行います。

事業費 1,252,000(21年度予算額 817,000)

達成目標

《耐震補強実施済橋りょう数(累計)》

H18 26橋 H22 45橋

22年度効果 +5橋

● 都心の魅力と活力の向上

札幌駅前通地下歩行空間整備事業

事業費 5,255,000(21年度予算額 2,182,000)

主な内容：四季を通じて安全で快適な歩行空間を確保し、都心全体の魅力と活力を向上させるため、地下鉄「さっぽろ駅」と「大通駅」を連結する地下歩行空間の整備を引き続き実施します。22年度は、地下通路本体の建築・設備工、及び地上部の歩道工事を行います。

達成目標

《地下歩行空間(地下歩道)の整備》

H22 供用開始

● 自然環境や景観に配慮した川づくりの推進

多自然川づくりの推進

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境および多様な河川景観を保全創出する川づくりを行います。

事業費 69,000(21年度予算額 156,000)

主な内訳：河川整備費 69,000

達成目標

《多自然川づくり整備延長》

H18 4.7km H22 5.5km

22年度効果 +0.1km

< 主な見直し項目(効果額) >

事業成果の検証による見直し

- 夏期道路清掃費 32,000
一部清掃エリアで清掃頻度の見直しを試験的に実施

その他の見直し

- 一般事務費の削減 41,066
- 施設運営管理費、サービス水準等の見直し 7,363

行政が担う範囲の見直し

- 大谷地バスターミナル事業の廃止
効果的・効率的な事務事業の実施のため、民間移譲を実施

都 市 局

一般会計要求総額
12,728,474千円
(対前年度 0.9%)



< 要求の基本的考え方 >

施設づくり・まちづくりに新エネルギーや省エネルギーを導入し、「環境首都・札幌」のトップランナーを目指して、環境負荷低減へ積極的に取り組む。

高齢者や障がい者、子育て世帯をはじめ、誰もが安心して安全に生活できるよう、良質な住宅の形成や施設のバリアフリー化、建築物の耐震化を支援・促進する。

活力に満ちあふれた都市の発展を目指し、調和のとれた良好な市街地整備を進めるため、都市再開発事業や土地区画整理事業による総合的なまちづくりを推進する。

(単位：千円)

子どもを生き育てやすい環境づくり	一主要事業一 特定優良賃貸住宅を活用した 子育て支援事業・・・	要求額 12,435〔市街地整備部〕
高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街	高齢者向け優良賃貸住宅の供給・・・ 厚別副都心地区のバリアフリー化・・・ 借上市営住宅の供給・・・	149,434〔市街地整備部〕 346,000〔市街地整備部〕 144,048〔市街地整備部〕
安全・安心で、人と環境にやさしい街	環境負荷低減へ向けた 市有建築物整備事業・・・ 民間建築物吹付けアスベスト対策事業・・・ 木造住宅耐震化促進事業・・・ 民間建築物耐震化促進事業・・・ 市有建築物耐震化推進事業・・・	164,496〔建築部〕 12,100〔建築指導部〕 14,300〔市街地整備部〕 62,018〔建築指導部〕 14,065〔建築部〕
将来を見据えた魅力ある都市の整備	琴似4・2地区再開発事業・・・	182,900〔市街地整備部〕
その他	東雁来第2地区土地区画整理事業・・・	2,599,000〔開発事業部〕

：新規事業 ：レバレッジ事業

● 市有建築物での環境配慮を推進

環境負荷低減へ向けた市有建築物整備事業



市有建築物の改修に合わせて、太陽光や地中熱などの新エネルギー・省エネルギー技術を導入し、CO₂排出量を削減します。

事業費 164,496 (新規)
主な内訳：6施設の工事費 158,496
22年度効果 CO₂排出量 68トン削減

● 高齢者向け賃貸住宅の確保

高齢者向け優良賃貸住宅供給事業

民間事業者が建設・運営する高齢者向けの優良な賃貸住宅に対し、事業者には建設費の一部を、入居者には家賃の一部を補助します。

事業費 149,434
(21年度予算額 45,362)
主な内訳：建設費補助 100,026
家賃減額補助 48,832
達成目標 認定戸数
H18 147戸
H22 347戸
22年度効果 +50戸



● 再開発による地域まちづくりの支援

琴似4・2地区再開発事業

再開発事業により商業施設や共同住宅などを一体的に整備し、魅力的な市街地環境を創出します。

事業費 182,900 (新規)
 主な内訳：再開発補助金 182,000
 達成目標 琴似4・2地区の整備
 H21 -
 H24 完了
 22年度効果 進捗率+12.9%



● アスベストの調査・除去を支援

民間建築物吹付けアスベスト対策事業

アスベストの含有調査や除去等工事に要する費用の一部を補助します。



事業費 12,100(21年度予算額 5,665)
 主な内訳：調査・除去等補助金 12,100
 達成目標 調査件数 H18 - H22 30件
 除去件数 H18 - H22 24件
 22年度効果 調査10件、除去8件

● 副都心地区のバリアフリー化

厚別副都心地区街づくり事業

地下鉄東西線新さっぽろ駅にエレベータ1基を新設するとともに、乗り継ぎ動線の案内標識を改修します。

事業費 346,000 (21年度予算額 365,300)
 主な内訳：エレベータ・連絡通路の新設工事 298,400
 達成目標 乗継動線のバリアフリー化
 H18 - H22 完了
 22年度効果 +34.0%



● 区画整理事業「ウェルピアひかりの」の推進

東雁来第2土地区画整理事業

区画整理事業により、「ウェルピアひかりの」を整備し、みどり豊かな美しい市街地環境を創出します。



事業費 2,599,000 (21年度予算額 2,994,000)
 主な内訳：工事費 1,203,054
 達成目標 「ウェルピアひかりの」の整備
 H29 完了
 22年度効果 進捗率+4.2%

● 建築物の耐震化を促進

木造住宅耐震化促進事業

木造住宅の耐震診断・耐震改修に要する費用の一部を補助します。

事業費 14,300(21年度予算額 12,700)
 主な内訳：耐震診断補助金 6,000
 耐震設計・改修費補助金 2,500



民間建築物耐震化促進事業

民間所有の学校、医療施設、分譲共同住宅などの耐震診断・設計に要する費用の一部を補助します。

事業費 62,018(21年度予算額 66,177)
 主な内訳：耐震診断等補助金 41,100
 耐震設計補助金 15,000

達成目標 札幌市内の住宅等の耐震化率
 H18 82.8% H27 90.0%
 22年度効果(木造住宅) 耐震診断200戸、設計改修5戸
 22年度効果(民間建築物) 予備調査30棟、耐震診断25棟、設計1棟

< 主な見直し項目(効果額) >

行政が担う範囲の見直し

- ・市営住宅管理業務の民間移行の拡大 161,872
 市営住宅において、公募の指定管理者が管理する区域を、白石区と手稲区にも拡大(これまででは北区と東区のみ)し、民間の手法を活用することで、経費を削減。
- ・札幌市主催のマンションセミナーを民間団体と共催することによる経費の削減 2,032

事業成果の検証による見直し

- ・NPO法人さっぽろ住まいのプラットフォームへの補助金の見直し 2,420
- その他の見直し
- ・市営住宅使用料の改定 28,557
- ・一般事務費の削減 11,676



消防局

一般会計要求総額
4,900,058千円
(対前年度 +1.8%)

< 要求の基本的考え方 >

市民のみなさんと連携を図り災害の低減を目指すとともに、災害発生時には24時間体制という組織力をもって迅速・確実に対応し被害を最小限に抑え、まちづくりの基本である「市民生活の安全と安心」を確保する。

(単位：千円)

日常の身近な暮らしの安心の確保	— 主要事業 —	要求額
	救急業務高度化推進	30,272〔警 防 部〕

そ の 他	消防訓練施設整備	30,000〔総務部〕
	消防活動資機材備蓄集約センター整備 . . .	114,000〔総務部〕
	北光・東苗穂統合出張所設計	184,555〔総務部〕
	消防指令システム設計	80,158〔総務部〕
	消防ヘリコプターテレビ電送システム設計 .	2,527〔総務部〕
	ジュニア防災スクール事業	4,000〔予防部〕
	消防救急デジタル無線共同整備設計	90,749〔総務部〕
	新型消火剤導入事業	6,471〔警防部〕

：新規事業 ：バリエーション事業

● 消防施設の充実強化

北光・東苗穂統合出張所設計

築後 40 年が経過し老朽化等が著しい両出張所の中間的な地域に、消防機能を集約させた統合出張所を建設し、施設の整理統合を行うため、設計及び用地購入を行います。

< 施設概要 > 建設予定地 東区北8条東11丁目
規模 耐火造2階建延 750 ㎡



事業費 184,555
主な内訳：実施設計費 23,774
 用地購入費 157,167
 事務費 3,614

● 消防力の充実強化

消防訓練施設整備

清田消防署敷地内に、消火、救助、救急訓練等、消防職員の技術向上を目的とした総合的な訓練施設を整備します。



事業費 30,000
主な内訳：設計・工事費 29,198
 事務費 802
達成目標 訓練施設数 H22～+1 施設

● 万ーに備えて

消防活動資機材備蓄集約センター整備

消防学校敷地内に、既存の消防活動用資機材を始め、新型インフルエンザ対策資機材などを備蓄集約する施設を整備します。

事業費 114,000
主な内訳：工事費 111,405
 事務費 2,595
達成目標 備蓄集約センター H22～1 施設

● 119番通報受付体制の確保

消防指令システム設計

119番通報を受け付け最適な出動部隊を編成し、各消防署・出張所に出動指令する消防局指令情報センターにおける指令システムの機器老朽化による更新整備に向けた設計を行います。



事業費 80,158 (新規)
 主な内訳：基本設計・実施設計 75,121
 事務費 5,037

● 救命率の向上

救急業務高度化推進

気管挿管や薬剤投与を実施できる救急救命士を養成、救急資器材の充実を継続して行い、救命率の向上を目指します。



事業費 30,272(21年度予算額 35,000)
 主な内訳：
 気管挿管・薬剤投与セット講習経費 14,711
 気管挿管病院実習経費 9,282
 現場資器材整備関係経費 6,279
 達成目標
 気管挿管病院講習の実施 15名
 セット講習の実施 25名

● 子どもの防火・防災教育の充実

ジュニア防災スクール事業

将来の地域の防火防災を担う人材を育成するために、中学生を対象とした防火・防災教育を行います。



事業費 4,000 (新規)
 主な内訳：資機材購入等 4,000
 達成目標 モデル校3校への実施及び検証

● 災害時の迅速な情報伝達

消防ヘリコプターテレビ電送システム設計

現場上空から消防ヘリコプターにより撮影したテレビ映像により、現場の状況を正確に把握することができる、消防ヘリコプターテレビ電送システム機器が老朽化しているため、更新に向けた設計を行います。

事業費 2,527 (新規)
 主な内訳：実施設計 2,165
 事務費 362

● 無線デジタル化を推進

消防救急デジタル無線共同整備設計

電波法関係審査基準の改正(平成15年10月)に伴い、整備費用の抑制等を目的とした共同化に関する国の指導により、北海道が策定した整備計画に基づき、本市を含む石狩支庁管内の6本部(札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩北部地区消防本部)により、消防救急デジタル無線を共同で整備します。



事業費 90,749
 主な内訳：実施設計 85,500
 事務費 5,249

● 環境に配慮した消防体制の充実

新型消火剤導入事業

水だけの消火に比べて格段に消火効率が高いクラスA泡消火剤を使用した消火戦術により、迅速・確実な消火活動と火災によるトータル被害の軽減を図り、環境に配慮した消防体制を確立・充実させます。



事業費 6,471 (21年度予算額 3,833)
 主な内訳：消防車両における装備整備 6,471
 達成目標 消火水の削減
 H20 H22 30%減

< 主な見直し項目(効果額) >

社会構造の変化に合わせた見直し
 ・受益者負担の適正化 745

その他の見直し
 ・役務契約内容の見直し等 26,975
 ・一般事務費の削減等 9,984

教育委員会事務局

< 要求の基本的な考え方 >

第2次新まちづくり計画の最終年次として、目標の達成に向けた着実な事業推進のための予算を配分。

「雪」「環境」「読書」をテーマに、自立した札幌人の育成を目指した事業に、重点的な予算配分を行った。

一般会計要求総額

35,645,699千円

(対前年度 +3.2%)

(単位:千円)

	一主要事業一	要求額	
未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	市立札幌大通高等学校整備事業	335,563	〔生涯学習部〕
	奨学金支給	102,256	〔学校教育部〕
	私立幼稚園特別支援教育事業費	9,012	〔学校教育部〕
	特別支援教育支援員活用事業	166,900	〔学校教育部〕
	外国語指導助手関係	285,180	〔学校教育部〕
日常の身近な暮らしの安心確保	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	15,981	〔生涯学習部〕
災害に強い安全なまちの整備	学校施設改築事業	3,499,395	〔生涯学習部〕
	学校施設耐震補強事業	313,332	〔生涯学習部〕
その他	学校施設太陽光パネル設置事業	281,985	〔生涯学習部〕
	子ども読書チャレンジプロジェクト	176,422	〔教育委員会〕
	学校統合関係改修等事業	516,714	〔生涯学習部〕
	若者支援施設運営管理事業	190,226	〔生涯学習部〕
	中央若者活動センター解体工事	3,631	〔生涯学習部〕
	豊平若者活動センター耐震改修工事	18,419	〔生涯学習部〕
	札幌らしい特色ある学校教育	25,000	〔学校教育部〕
	部活動外部顧問派遣事業	7,200	〔学校教育部〕
	学校非公式サイト等対策事業	1,600	〔学校教育部〕
	AED消耗品更新事業	11,000	〔学校教育部〕
	第2次図書館ビジョン策定事業	4,000	〔中央図書館〕

: 新規事業 : レベルアップ事業

● 私立幼稚園の支援体制を充実

私立幼稚園特別支援教育事業

市立幼稚園の10園化(17園から7園閉園)及び3年保育実施による定員減の影響により、多くの幼児が私立幼稚園へ就園することが予想されます。特に特別な教育的支援を必要とする幼児に関しての支援体制の構築が急務であるため、私立幼稚園における特別支援教育を必要とする幼児に携わる職員に対して人件費を補助する制度を試行的に実施します。



事業費 9,012 (新規)

● 奨学金採用者数を拡充

奨学金支給

能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な大学生・高校生などに奨学金を支給します。22年度は、第2次札幌新まちづくり計画のほか、小竹基金及び経済対策による増員などにより、前年度より140人程度の採用者増を見込んでいます。



事業費 102,256 (21年度予算額 94,514)
 達成目標 採用者数 H18:456人 H22:1,000人
 22年度効果 +144人(H21:1,171人 H22:1,315)

● 学校太陽光パネルで環境に優しい発電

学校施設太陽光パネル設置事業

この事業は、子どもたちや地域住民への環境意識の普及啓発や新エネルギーの活用に伴うCO2排出削減を目的とし、全ての学校で太陽光パネルを設置することを目標に計画的に整備を推進していきます。なお、22年度は8校において太陽光パネルの設置を行います。

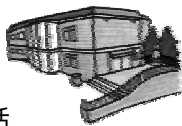


事業費 281,985 (新規)
22年度効果 +8校(桑園小改築、大通高校含む)

● 若者の社会的自立を支援

札幌市若者支援施設運営管理事業

引きこもり、ニートなど、社会生活を円滑に営む上で困難を抱える若者の自立を支援するため、若者支援総合センターを設置します。また、若者のまちづくり活動や交流を支援するため、若者活動センター5館を設置し、平成21年4月に策定した札幌市若者支援基本構想に基づく取組を進めます。



事業費 190,226(新規)

● 札幌のまちに根ざした豊かな感性を育てる

札幌らしい特色ある学校教育

札幌の子どもたちに、札幌のまちに根ざした豊かな感性や人間性を身につけさせ、自ら学び、自ら考える「生きる力」を培うとともに、主体的に社会にかかわる「自立した札幌人」の育成を目指すために、「雪」「環境」「読書(子ども読書チャレンジプロジェクト)」の3つの基本テーマに、新たな事業を展開します。



主な事業

雪に関する学習関連事業

スキー学習モデル校事業
雪に関する学習モデル校事業



環境教育関連事業

札幌エコスクール宣言事業
さっぽろっこ農業体験事業

事業費 25,000 (新規)

● 子どものための魅力ある読書環境づくり

子ども読書チャレンジプロジェクト

読書は、豊かな感性と考える力を生み、人生をより深く生きていくのに欠かせないものであり、基礎教育や学力向上などの教育的効果があります。子どもの読書の習慣化と意欲の向上を図るため、本との出会いや感性を磨き、想像力を豊かなものとし、自ら考え、行動するための読書環境を整備するとともに、感動の共有や表現することの楽しさを演出し、主体的に社会の形成に参画していくために必要な知識や教養を身につける事業の展開を図ります。



主な事業

図書資源ネットワーク

学校から子どもたちが手軽に公共図書館の本を利用できるようにするほか、寄贈図書の利活用のネットワークづくりを行います。

幼児絵本ネットワークセンター開設

大型絵本や布絵本などを集中保管し、幼稚園などに貸し出すシステムを構築します。

さっぽろ家庭読書フェスティバル

さっぽろ家庭読書の日から1カ月間、全市で読書に関するイベントを開催します(講演会、コンサート、本のリサイクル市など)。

学校図書館サポートシステム

市民ボランティアを育成し、学校図書館に図書ボランティア及びアドバイザーを派遣します。

子ども読書活動推進事業

図書館デビュー
図書館利用のマナーの紹介
さっぽろっこ絵本づくり
小学生の手作り絵本制作講座
さっぽろっこ出版体験
中学生の本の出版体験講座 など

事業費 176,422 (新規)

● 新たな図書館ビジョンを策定

第2次図書館ビジョン策定事業

市民の生涯学習を支え、知識と情報を発信する図書館を目指して平成14年1月に策定された第1次図書館ビジョンを改定します。市民の期待に応える新たな図書館サービスのあり方などを検討し、市民の意識調査やパブリックコメントなどを実施し、策定します。



事業費 4,000 (新規)

< 主な見直し項目(効果額) >

事業成果の検証による見直し

- 小中学校理科少額教材整備の見直し 10,000
- 国庫補助事業への振り替えによる当初計画の廃止
- 青少年センター等運営管理費委託の見直し 220,863
- 勤労青少年ホーム、青少年センターの廃止

社会構造の変化に合わせた見直し

- 学校給食調理委託業務の見直し 38,675
- 委託業務契約方法の見直し等
- 青少年山の家運営管理費の見直し 24,436
- 指定管理者公募等による見直し
- その他の見直し
- 一般事務費等の削減 112,288

危機管理対策室

一般会計要求総額

164,268千円
(対前年度 64.4%)

< 要求の基本的考え方 >

災害に強い安全なまちの整備を進めるため、地域防災計画の充実にに向けた取組や自主的な防災活動への支援を行う。

札幌市の防災対応力を強化するため、災害等の情報連絡体制の整備などを推進する。

(単位：千円)

災害に強い安全なまちの整備	一主要事業一	要求額
	自主防災活動推進事業	11,974〔危機管理対策部〕
	簡易型災害図上訓練(DIG)支援事業	900〔危機管理対策部〕
	洪水ハザードマップ作成	7,000〔危機管理対策部〕
	地域防災計画修正	7,430〔危機管理対策部〕
その他	市災害対策本部訓練	8,186〔危機管理対策部〕
	防災・危機管理情報共有ネットワーク推進事業	2,000〔危機管理対策部〕
	緊急地震速報利活用促進事業	2,500〔危機管理対策部〕
	防災・危機管理教育充実強化	1,584〔危機管理対策部〕

：新規事業

● 地震防災対策の充実

地域防災計画修正

第3次地震被害想定の結果に基づき、22年度中に札幌市地域防災計画(地震災害対策編)を修正します。



事業費 7,430
主な内訳：委託料 7,430

● 実践的な災害対応の図上訓練

市災害対策本部訓練

大規模な自然災害に備え、自治体としての防災・危機管理対応力の一層の向上を図るため、実践的な災害対応の図上訓練を行います。



事業費 8,186(新規)
主な内訳：委託料 6,930
事務費 1,256

● 洪水ハザードマップの作成

北海道から公表された、厚別川、月寒川、精進川等の中小河川の浸水想定区域を基に、中小河川を対象とした「洪水ハザードマップ」を作成します。



事業費 7,000
主な内訳：委託料 6,600
事務費 400

● 自主防災活動活性化の支援

自主防災活動推進事業

地域住民の自主防災活動支援のため、活動普及用DVDの作成や、ワークショップ、講演会などを開催します。



事業費 11,974
主な内訳：委託料 8,377
事務費 3,597

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 2,909

会計室

一般会計要求総額
234,958千円
(対前年度 0.0%)

< 要求の基本的考え方 >

公金の金融機関窓口での収納に伴う納入通知書等の事後処理経費及び口座振替による支出等にかかる金融機関への手数料については、取扱件数実績にもとづき、前年度と同程度の予算を要求した。事務用品等の一括購入を行う用品制度予算は、大量購入による単価の縮減が図られるため、前年より増額した。その他の事務的経費については、引き続き削減を行った。

(単位：千円)

その他	一主要事業一	要求額
	会計管理費	172,161
	用品準備購入費	62,797

● 経費削減に向けた取組みを推進

用品準備購入

各部局において共通に使用する物品である筆記用具等を用品として指定し、一括購入を行うことにより、経費の削減及び効率的な事務の遂行を図ります。

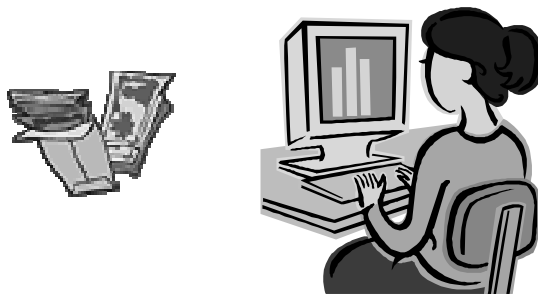
また、一括購入用品の品目について再検討し、市役所全体における積極的活用を目指します。

事業費 62,797 (21年度予算額 61,110)

主な内訳：ノート、筆記用具、洗剤、作業用被服

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 1,638



市長政策室

一般会計要求総額
2,963,593千円
(対前年度 22.2%)

< 要求の基本的考え方 >

市民自治の推進に必要な市政情報を市民へ提供するために広報・広聴機能の充実を図る。

持続可能な財政構造への転換を目指した行財政改革を推進する。

(単位：千円)

将来を見据えた魅力ある都市の整備	一主要事業一	要求額
	札幌駅前地下歩行空間活用促進	84,120〔政策企画部〕
その他	シティプロモート推進	15,392〔政策企画部〕
	市役所公式ホームページ再構築	53,290〔広報部〕

：新規事業

● 都市イメージの確立及び効果的な発信

シティプロモート推進

都市間競争を優位に進め、都市の活性化を図るため、札幌市の新たな都市イメージを確立し、横断的・総合的な調整のもと、戦略的に国内外に発信します。

事業費 15,392(新規)

主な内訳：シティプロモート戦略策定調査 7,500
メディア等への記事掲出 6,000
事務費 1,892

達成目標 交流人口や定住人口の増加及び都市基盤や経済基盤の安定化

● 効果的な情報発信の推進

市役所公式ホームページ再構築

市民がより情報を得やすいように、市役所ホームページをリニューアルするとともに、ホームページの運用・管理をシステム化することで、市民への情報発信の活性化を図ります。

事業費 53,290(新規)

主な内訳：システム構築等委託料 51,474
機器購入費 1,816

< 主な見直し項目(効果額) >

・札幌市民便利帳の民間との共同発行 4,995
・一般事務費の節減 4,784

財 政 局

一般会計要求総額
151,338,797千円
(対前年度 1.2%)

< 要求の基本的考え方 >

「持続可能な財政構造への転換」を実現するため、財政基盤の強化や、地方分権に対応した予算編成を行う。
市税収入の向上や、市有地の利活用について計画的に取り組む。

(単位：千円)

そ の 他	一主要事業一	要求額
	市税事務所開設事業	768,186〔税 政 部〕
	コンビニエンスストア収納税目拡大整備	142,479〔税 政 部〕
	市有地売却促進事業	21,220〔管 財 部〕

:レベルアップ事業

● 市税事務所の開設

市税事務所開設事業

公平・適正な課税の実現と納税秩序の維持により、重要な自主財源である市税を確保するため、22年10月の「市税事務所」開設に向けて準備を進め、効率的な執行体制の確立と機能強化を図ります。

事業費 768,186(21年度予算額 79,200)
主な内訳：移転・事務室整備費 596,763
電算システムの改修費 115,714

● 市有地売却に係る民間活用

市有地売却促進事業

宅地建物取引業者による市有地の購入者斡旋など民間のノウハウを活用し、市有地の売却を促進します。

事業費 21,220(21年度予算額 10,200)
主な内訳：市有地売却媒介制度 20,000
民間アドバイザーの活用 1,220

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の節減 52,109

選挙管理委員会事務局

一般会計要求総額
1,046,438千円
(対前年度 +81.0%)

< 要求の基本的考え方 >

選挙が公正かつ適正に行われるよう、あらゆる機会を通じて啓発活動を行い、選挙人の政治意識の向上に努める。

(単位：千円)

そ の 他	一主要事業一	要求額
	参議院議員選挙執行	461,000
	道議会議員及び知事選挙執行準備	131,000
	市議会議員及び市長選挙執行準備	365,349

● 参議院議員通常選挙の執行

参議院議員選挙執行

22年7月に、任期満了に伴う第22回参議院議員通常選挙が執行されます。

事業費 461,000
主な内訳：投票(所)関係経費 147,000
開票(所)関係経費 76,000
事務費 156,000

● 統一地方選挙の執行準備

統一地方選挙執行準備費

23年4月の統一地方選挙で任期満了に伴う知事選挙、市長選挙、道議会議員選挙、市議会議員選挙の執行が予定されているため、その準備を行います。

事業費 496,349
主な内訳：道議及び知事選挙執行準備費 131,000
市議及び市長選挙執行準備費 365,349

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 499

人事委員会事務局

一般会計要求総額
40,279千円
(対前年度 1.7%)

< 要求の基本的考え方 >

民間や他の行政機関との間で、人材確保の競争が激化している中、札幌市の組織風土や職員の仕事のやりがいなどを重点的に発信し、意欲と行動力のある人材の確保を目指します。

職員が高い使命感や情熱を持ちながらその能力を最大限に発揮して、市民の負託に応えていくことができるよう、給与・勤務条件制度や任用制度について、調査・研究に取組みます。

(単位：千円)

そ の 他	一主要事業一	要求額
	職員採用関連PR事業	1,940
	給与・勤務条件制度等に関する調査研究事業	1,974

● 有為の人材確保に向けて

職員採用関連PR事業

札幌市の組織風土や職員の仕事のやりがいなどを積極的にPRし、意欲と行動力のある人材確保を目指します。

事業費	1,940(21年度予算額 2,375)
採用試験ポスター・パンフレットの作成	1,133
人事委員会主催の採用試験説明会の開催	235
就職活動サイト等を活用したPR	390
合同企業説明会への参加	182

● 給与・勤務条件制度等に関する調査研究

給与・勤務条件制度等についての調査研究事業

職員の給与・その他の勤務条件や任用制度について、民間の実態も含めて調査・研究を行い、市民サービスの向上へとつながる本市の制度を構築します。

事業費	1,974(21年度予算額 2,100)
研修会等への参加	634
調査研究用図書等の購入	1,340

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の節減	699
-----------	-----

監査事務局

一般会計要求総額
22,886千円
(対前年度 1.7%)

< 要求の基本的考え方 >

依然として厳しい財政環境が続く中、昨年施行された財政健全化法では、健全化判断比率の審査を監査委員の新たな責務と位置づけるなど、監査委員の果たす役割は、ますますその重要性を増している。このような状況に対応し、監査の専門性・独立性を確保しながら、市民の視点に立った、実効性の高い監査を目指し、より一層の監査事務の充実に努める。

(単位：千円)

そ の 他	一主要事業一	要求額
	監査事務	16,690

● 監査事務の充実

財務行為の適否を中心とする定期監査において、財政運営全般の視点から事務・事業評価についても、引き続き積極的に行う。

これにより、効率的、経済的な行政運営を促すことで、無駄が省かれ、資源の有効活用が図られることにより、環境負荷の低減に結びつくと考える。

行政事務の専門化、複雑化へ対応し、監査の質の向上を目指すため、職員のスキルアップを目的とした研修を充実させる。

● 情報共有の推進

ホームページ「札幌市の監査」を通じて、監査結果の報告や決算審査意見など、監査に関する情報を可能な限り速やかに提供する。

監査報告書の様式変更を行う等、引き続き表現方法の工夫や内容の充実を図ることにより、より一層、市民にわかりやすいものにするよう努める。

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減	407
-----------	-----

議会事務局

一般会計要求総額

1,535,992千円
(対前年度 +0.5%)

< 要求の基本的考え方 >

地方分権の進展により地方公共団体の自己決定権と自己責任が拡大する中、本市議会の役割が増大し、自治基本条例に基づいて市民自治によるまちづくりを推進するため、議会における政策形成機能を強化し一層の充実を図るとともに、より市民に開かれた議会運営を推進する。

(単位：千円)

そ の 他	一主要事業一	要求額
	議会運営（議会広報関係）	15,477

● 議会広報の推進

議会運営（議会広報関係）

市民のみなさんに議会への関心と理解を深めていただくため、広報誌やインターネット等による議会広報を推進します。
22年度からは、市議会本会議のインターネットによるライブ中継に加え、新たに録画映像配信を実施します。

事業費 15,477(21年度予算額 14,397)
 主な内訳：本会議のインターネット動画配信 2,000
 インターネットでの会議録の検索・閲覧 2,590
 市議会だより（年4回）等の広報誌 1,505

< 主な見直し項目(効果額) >

一般事務費の節減 1,398

